

4月になると、みんなというわけではないが、進級や就職に向けて、それぞれが新しい環境に適応することを求められる。

例えば、進学や進級に伴って新しい人との出会いがある。一年のスタートを切るに当たっては、もちろん誰もが3月まで楽しく充実した一年を過ごしたいと思っている。だが、どうしてもトラブルが起こることがある。一人一人に個性があり、考え方も違うのだから、起こらない方が珍しいのかもしれない。

就職や人事異動による配置替えなどがあると、新しく仕事を覚えることに加えて、人間関係を築いていくことになるので、もっと大変ではないか。

今は、携帯電話や電子メールなど本人と直接連絡を取れる手段がいろいろあるが、みんながみんなうまく活用できているだろうか。

特に電子メールのやりとりに関する最近のニュースを見ると、自分が送ったメールにすぐ返信がこないことに不安になったり、逆に相手からのメールにできるだけ早く返信をしないと、関係が悪くなるのではないかと不安になったりするそうである。相手の顔が見

「新しい環境」

えない文章だけのやりとりが、今までになかったトラブルを生みだしているように感じる。

自分の昔のころを思い出してみると、友達とトラブルがあったときは、「家に電話する」「本人と会って話す」「手紙を書く」「他の友達に相談する」などの方法で何とか解決しようとしていたし、多少のことなら我慢することもあった。問題を解決していく上で、デジタルの良さもあるかもしれないが、最後は昔ながらの方法も大事ではないか。

「自分を大切に思う気持ち」と「相手を大切にする気持ち」のバランスをうまく取りながら、新しい環境でもみんなが輝いてほしいと思う。



お問い合わせは

人権啓発広報委員会

(880・6569) まで